

社長を募集



難削材の複雑加工を得意とする高付加価値企業
クライム・ワークスが未来の社長を募集

します！

開発支援の試作品メーカー

まず簡単に御社の事業内容を教えてください。

山口：一言で言うと、開発支援を主とする試作メーカーです。また会社としてのウリは、ずばり総合力。価格、品質、納期の面で高いレベルを実現させています。モノづくりというものは、やはりお客さんとの信頼関係が一番大事なんです。いかにして短い納期で、高品質なものを提供し続けられるか。こういったことの積み重ねが、お客さんとの信頼関係を築き、新たな受注につながります。



2台並んだ造形機。最大で600×600×600mmの造形を行うことができる

また、うちは大手メーカーさんの開発支援を行う試作メーカーなので、常に黒字に徹しています。私

—— なるほど。山口さんは、小さい頃から社長になることを夢見ていたんですか？
山口：いやいや、自分が社長になるなんて夢にも思わなかったです。(笑)でも、私の親父が大工の棟梁で、私は親父を非常に尊敬していました。だから、そんな父の背中を見て、職人の世界に憧れていたというのはあると思います。

—— どういった部分に憧れていたんですか？
山口：大工の棟梁だったんで、私の家に弟子が何人もいました。そういう光景を見て、「親父カッコいいなあ」って。また親父は決して人の悪口を言いませんでした。絶対に他人を非難したりしない。そういうモノ言わぬ親父がカッコよかった。

また親父の弟子が、どんどん独立して、親父を追い越していくんです。親父より大きくなっていった。でも、そんな弟子たちの姿を見て、親父は喜んでいました。そういう心の広い人だったんです。

たちが作ったものが市場に出回ることとはまずない。でも私は自分の仕事をとても誇りに思っています。なぜなら大手メーカーさんの企業ブランドの根拠を支えている仕事だと思っ

ているからです。お客さんである大手メーカーさんは、試作品を作りながら不良品が市場に出回らないように、常に試行錯誤している。そのお手伝いをするのが私たちの仕事です。まさに会社にとっての生命線である企業ブランドを守るお手伝いをしていっているんですね。これはたいへん意義のある仕事だと思っています。

大手一流企業がクライム・ワークスを選ぶ訳

—— なぜ大手一流企業がクライム・ワークスさんを選んでしまうのか。
山口：技術的な話で言えば、アルミやチタン、マグネシウムなどの一般的に加工が難しいとされる難削材の加工をうちが得意としているということが挙げられます。実際に携帯電話用キーボードやCD・DVDのピックアップベースなどの試作品を大手

—— やっぱ父親の影響は大きかったですか？
山口：そうですね。私も基本的に人を嫌いになつたりしないんです。人の悪口も絶対に言わないようにしている。人には尊敬できる部分が必要。一つはあるんです。そこを見ないといけない。そう思っています。また私はうちの社員のことも尊敬しています。決して自分より下に見たりはしていません。

モノづくりの原点は人づくり

—— クライム・ワークスのビジョン(理念)は何ですか？
山口：世界トップレベルの開発支援モノづくり企業になること。ということですね。ちょうど先日全社員を集めて合宿をしました。その合宿で、私がこのビジョンを掲げ、具体的な数値目標も設定して、全社員が一丸となって進んでいる最中です。私は会社経営にゴールはないと思っています。常に自己革新の繰り返しだと思っています。現状満足がいちばん怖い。人も企業も一生成長し続けたいといけないと思うんです。

またモノづくりの原点は、人づくりだと思っんです。モノというのは、作り手の人間性がそのまま出るので、素晴らしい製品を作りたければ、まず自分の人間性を磨くべきだと思いますね。

—— やはり、表面的なテクニック論だけでなく、心が大事だと。
山口：そうですね。クライム・ワークスでは、大手バイクメーカーさんにも試作品を提供しています。そのお客さんからこんな話を聞かされたことがあります。バイクレーシングの試合がある前日、その設計者の方は不安で押し潰されそうになるらしいんです。「もし万が一、事故が起きたら、自分の設計が事故の原因だったんじゃないか。そう思ったら、夜も眠れない」と。また「レーサー自身は自分の運転技術が原因だと思っ、怪我などをして痛い思いをする。でも、設計者は自分の身は痛くない分、それが逆に非常に怖い」と。その話を聞いた時、私はこの人のために120%の完成度を持った製品を提

世界的な大企業の開発支援をしているクライム・ワークス。創業者の山口は、長崎の生まれで、高校卒業後に大手ゼネコンに入社。その後、信頼する先輩に誘われて、大田区の町工場に単身で乗り込んだ。そこで山口はモノづくりの虜になった。もっと本気でモノづくりを極めたい。90年には独立を果たす。いまでは開発支援を主とする試作メーカーとして、業界から絶大な信頼を勝ち取り、技術力と誠実な仕事ぶりを武器に成長を続けている。

クライム・ワークス 代表取締役社長
山口 誠二
やまぐち せいじ



Profile 山口 誠二 (やまぐち せいじ)
1962年長崎県生まれ。81年に長崎県立長崎工業高校建築科を卒業。そして上京し、株式会社フジタ工業(現：フジタ)に入社。工事現場の現場監督などを務め、84年に同社退社。その後、大田区蒲田の町工場に単身で乗り込む。90年、有限会社クライム・ワークスを設立し、代表取締役に就任。98年には株式会社に改組し、現在に至る。

図面などには表れない品質ってあるんですよ。技術者の誇りというか、技術者の責任感というか。これが人間性という部分なんです。こういったことが分かる人じゃないと、モノづくりをしてはいけないと思う。



The Management Data File

経営者データファイル	
お名前	山口 誠二
生年月日	1962年10月30日 長崎県生まれ
身長	167cm
体重	73kg
平均睡眠時間	5時間
平均起床時間	午前6時
趣味	野球
乗っている車	ベンツ
家族	5人
今までに訪れた国	10カ国
購読雑誌	経済誌
尊敬する人	織田信長
今日の財布の中身	15万円
好きな食べ物	魚、ケーキ
嫌いな食べ物	無し

会社概要 株式会社
クライム・ワークス

所在地 ● 東京都大田区大森南3-12-1
設立 ● 平成2年6月 資本金 ● 1,200万円
事業内容 ● 各新製品の試作品、小ロット部品をより速く最高のパフォーマンスで提供する3次元試作メーカー 従業員数 ● 25名
URL ● <http://www.climbworks.co.jp/>

就職情報はコチラ